家族で話し合い 防災カードを作ろう！

防災カードの目的

防災カードは、保護者の連絡先や避難場所など、緊急時に必要な情報を記入し、子どもたちに携帯してもらうことを目的としています。災害時をシミュレーションして、家族で話し合って作成しましょう。いざという時に子どもたちが落ち着いて行動できるように、ぜひ活用してください！

防災カードにまとめよう！

①家族の連絡先

子どもたちは、保護者の方の**携帯電話の番号を知っていますか？**連絡先が分からなければ、居場所を伝えることもできません。親戚なども含めて、必要な連絡先を記載しておきましょう。

②集合場所・避難場所

一人で行動している時でも、**集合場所を決めておけば安心して**避難することができます。災害の種類で避難場所が変わります。様々な状況を想定して、家族で話し合いましょう。

③子ども情報

子どもたちが、周りの大人に自分のことを説明するのは簡単ではありません。保護者が一緒にいられない時のために、**病気やアレルギー**など**必要な情報**を記載しておくと安心です。

④子どもへのメッセージ

落ち着いて行動するために、**保護者の方からのメッセージは重要な役割**を果たします。いざという時に気を付けてほしいことや安心できる言葉を書いておきましょう。

メッセージ

より

自分のこと

●なまえ

●この子について

病気やアレルギー、薬など

おうちの人に書いてもらってね

おうちの人の連絡先

●名前 ふりがな　続柄

●連絡先

●名前 ふりがな　続柄

●連絡先

●名前 ふりがな　続柄

●連絡先

●よく行く場所

●よく行く場所の連絡先

家族の集合場所・避難場所

いざという時に集まれるように、おうちの人と話し合おう！

●地震・津波の時

●大雨・台風の時

災害用伝言ダイヤルを使おう

自分のメッセージを録音したり、おうちの人のメッセージが聞けるよ

171 に電話する

録音 1 を押す

再生 2 を押す

電話番号を押そう

メッセージを残す

メッセージを聞く

©2023 IKARI SHODOKU CO., Ltd. JAPAN

＼困った時に見よう！／

ぼうさいカード

書いた日

年　月　日

防災カードの作り方

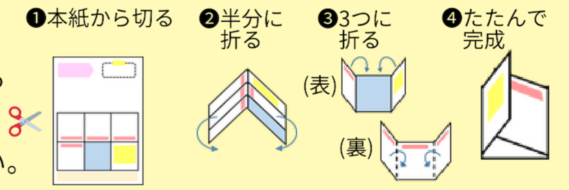
①点線(----)に沿ってハサミで切ります。

②空欄を家族で話し合って記入します。

③灰色の線(—)に沿って山折りします。

④「ぼうさいカード」が表紙になるように折りたたみます。

⑤完成！お子様に持たせてください。



©2023 IKARI SHODOKU CO., Ltd. JAPAN